

授業および教育環境等に関する学生アンケート実施報告

令和元年6月

東北大学大学院文学研究科
学務教育室教育改善担当

本報告は、平成30年度に学務教育室の教育改善担当において学生を対象に実施した「授業評価アンケート」および「教育環境評価アンケート」の結果をまとめたものである。文学部・文学研究科において「授業評価アンケート」が開始されたのは、平成10年度の後期、「教育環境評価アンケート」が開始されたのは平成15年度の後期からである。それ以降、学生の意見を授業および教育環境の改善により役立つように、質問項目を段階的にブラッシュアップさせながら今日に至っている。

「授業評価アンケート」の結果は各教員に授業毎に提示され、教員から必要に応じて教育改善担当にフィードバックをいただくことになっているが、本報告では文学部・文学研究科全体に関わる主要な質問項目に絞って、結果をお示ししたい。また「教育環境評価アンケート」の結果については、主要な質問項目の結果に加えて自由記述欄の記述（同内容のものを1つの記述としてまとめるなど、内容に若干の整理を施した）についても提示したい。これらのデータは、文学部・文学研究科の今後の方向性を考える上で、貴重な資料として扱われるべきものである。

なお、アンケート内容、実施方法等については、よりよいものとするために、今後も検討されるべきものであろう。忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

回答を寄せていただいた、学部生・院生諸君、ご協力・ご相談に乗っていただいた米屋功貴前教務係長、平塚貴志現教務係長をはじめとする教務系の事務職員の皆様、三浦秀一前学務教育室長、土屋育子前教育改善担当、長岡龍作現学務教育室長に感謝申し上げます。

2019年6月30日

東北大学大学院文学研究科
平成30年度学務教育室教育改善担当
木村敏明
籠橋俊光

【総評】

前年度に授業評価アンケート項目の一部見直しを行い、今年度はそれを踏襲して実施した。その結果、昨年度同時期の総数とほぼ同じ回収数となった（平成 29 年度 3033 人、平成 30 年度 3028 人）ことから、見直しの有効性がある程度認められるものであり、次年度以降も基本的な方針は踏襲すべきものとする。

「授業評価アンケート」からは、「授業への出席」80%以上の回答が、学部・講義で 95.2%、学部・演習で 96.4%、大学院・講義で 89.4%、大学院・演習で 96.9%であり、また「授業への総合判断」の「非常に良い」「良い」の合計が、学部・講義で 88.3%、学部・演習で 94.4%、大学院・講義で 91.7%、大学院・演習で 98.3%であるなど、学部・大学院ともに各授業が円滑に行われており、学生の満足度も高いことがうかがわれた。

学生からの声を適切に吸い上げるために、今後ともアンケート内容の検討等は引き続き行う必要があり、また、各教員レベルでの授業改善の努力も不断に必要であろうが、改善を要する大きな点は現段階においては無いように思われる。

「教育環境評価アンケート」からは、「学生生活全般」に関する満足度について「満足である」「まあ満足である」の合計が 82.7%であり、また、「各種ガイダンスやオリエンテーション」、「『学生便覧』『講義概要』の活用」など、他の質問項目においても昨年度とほぼ近い割合か、昨年度より向上したものもあり、学生の多くが文学部・文学研究科での生活全般に満足している傾向が見てとれる。

しかしながら、検討を要する点もいくつか存在する。主なものを以下に挙げる。

- ・講義関係では、単位取得や卒業論文に関する意見や就職情報に関する要望がある。具体的に、3 年次における既取得単位の状況確認、各種情報伝達に関して改善の要望が寄せられており、システム上での改善の必要が認められる。

- ・研究室・教室等の設備に関して、複数名から改善を求める意見が寄せられている。具体的には、暖房設備の不良の改善に関する意見が集中して見られ、加えてプロジェクター等の機器故障への対応、机や椅子の改善・時計や自販機の設置に関する要望があった。指摘のあった機器については、たとえば大教室の AV 機器の不調が昨年度末に更新されたことで解消しているように、適宜必要な改修・更新がなされている。一方で指摘の集中した暖房設備に関しては、一昨年度末にリニューアル工事が行われたにも関わらず、卒業・修士論文作成のただ中である厳冬期に大規模な故障が長期的に発生し、大きな影響を与えるものであったことから、これ以後の確実な対応が求められる。

- ・ハラスメントの存在をうかがわせる指摘や、対応方法についての要望が寄せられている。文学部・文学研究科では、「ハラスメント相談窓口」・「学生相談窓口」を設け、適切な対応に努めているところであるが、かかる指摘が寄せられたことはよりいっそうの対応や啓蒙の必要を認めるものである。以下、今年度のハラスメント相談窓口・学生相談窓口の URL・メールアドレスを提示する。

〈各種相談窓口 URL〉

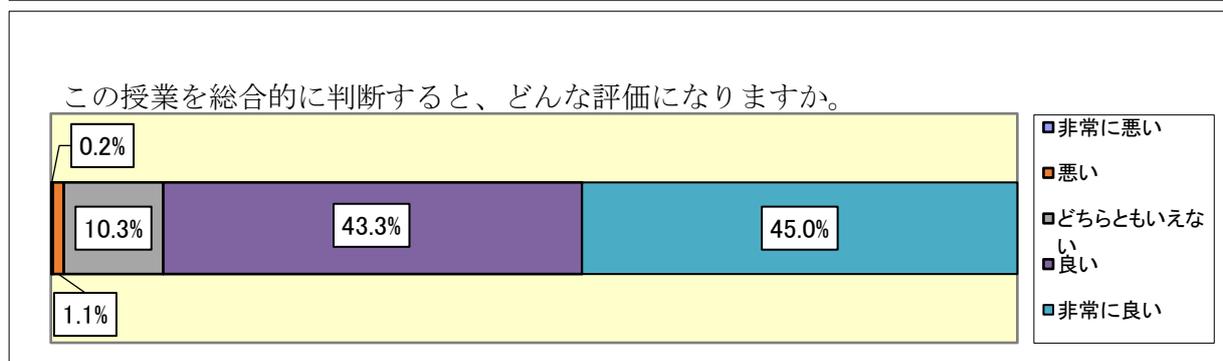
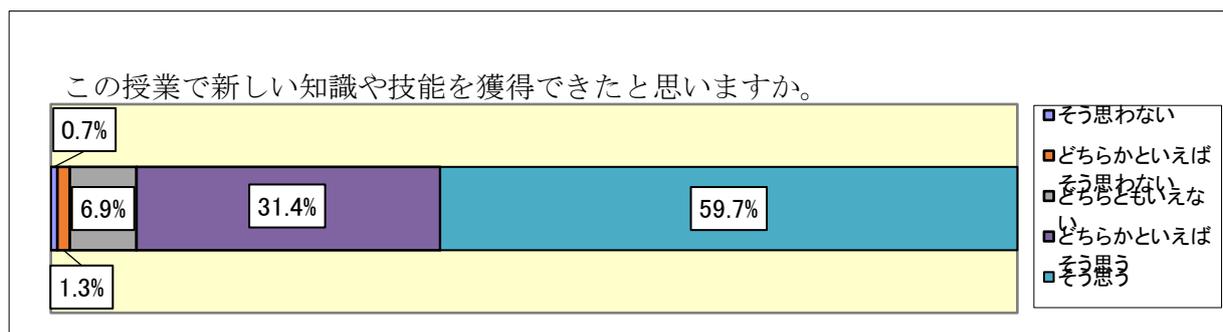
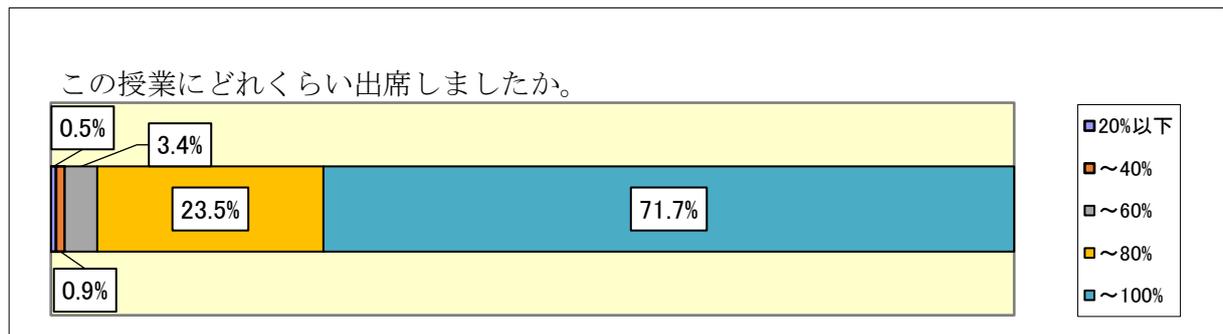
<https://www.sal.tohoku.ac.jp/jp/campus/madoguti/>

〈ハラスメント相談窓口〉（専用電話番号） 022-795-5951

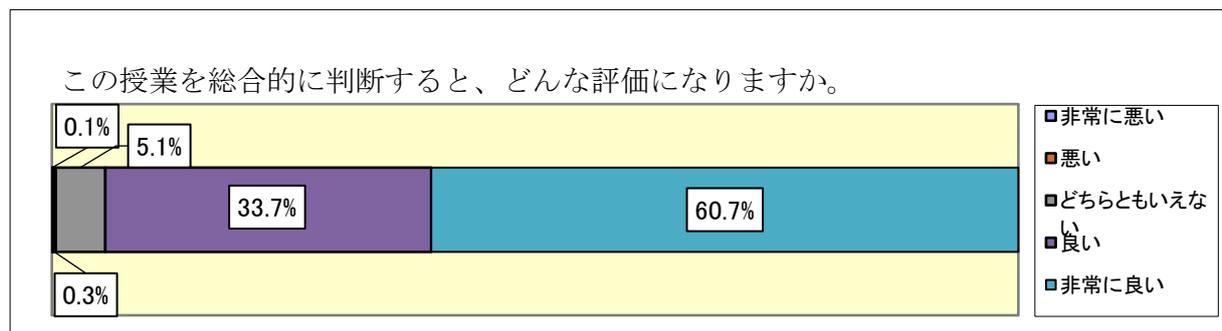
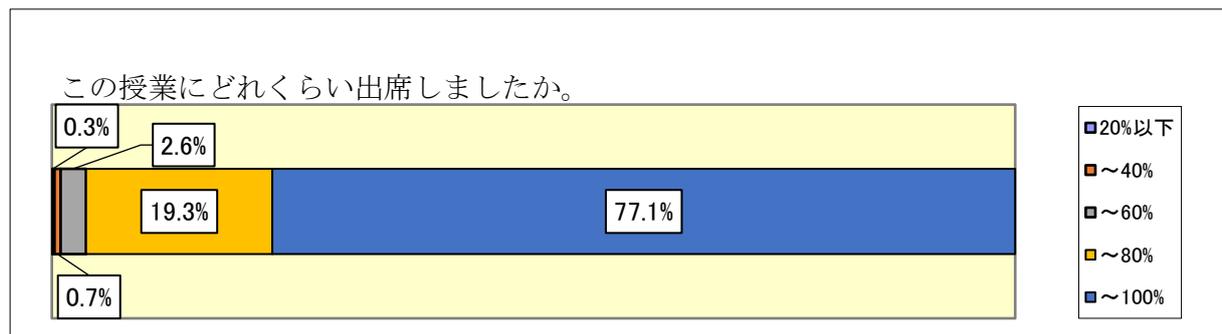
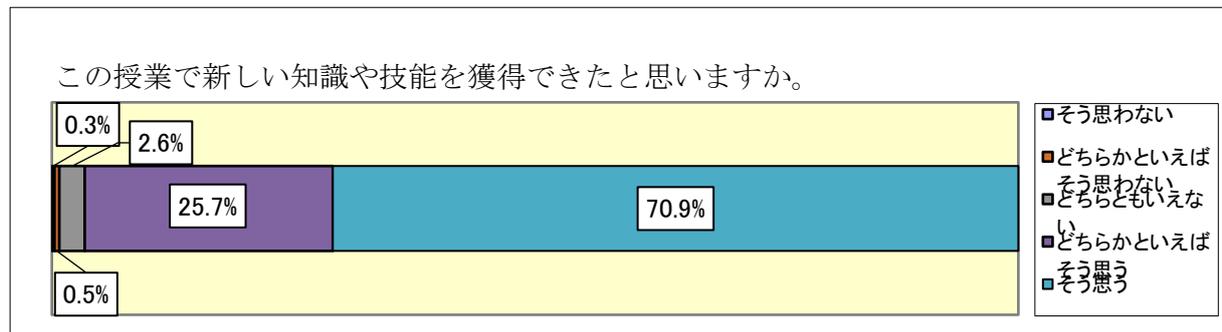
〈学生相談窓口〉専用メールアドレス soudan-sal*ml.tohoku.ac.jp
（*を@に置き換えてください）

授業評価アンケート

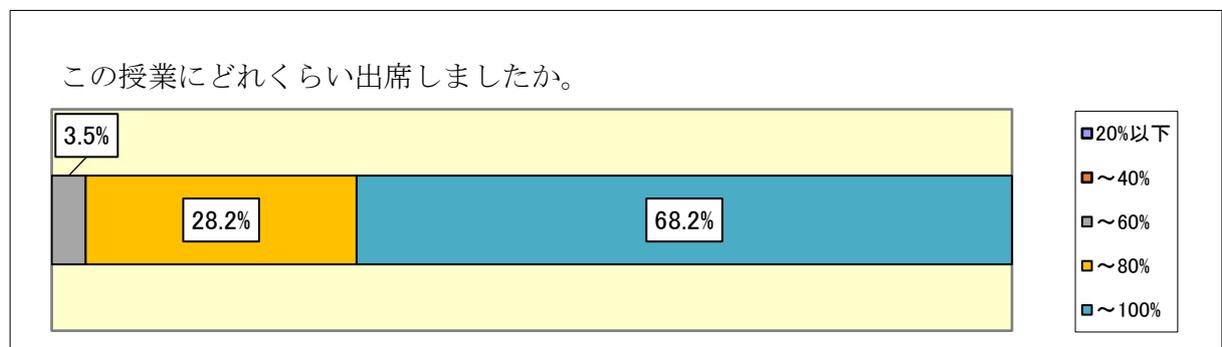
学部・講義



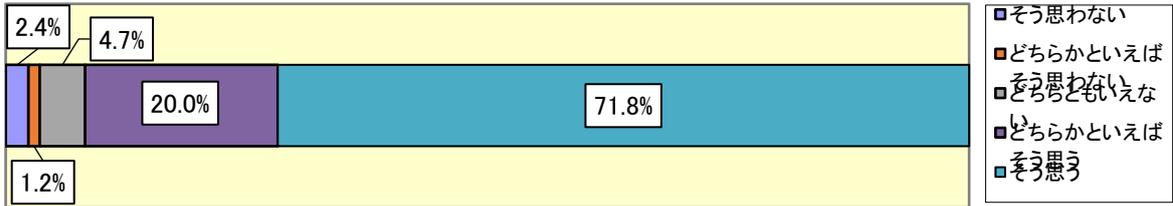
学部・演習



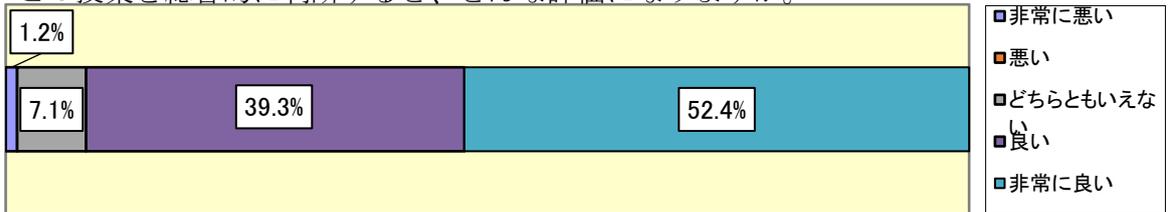
大学院・講義



この授業で新しい知識や技能を獲得できましたか。

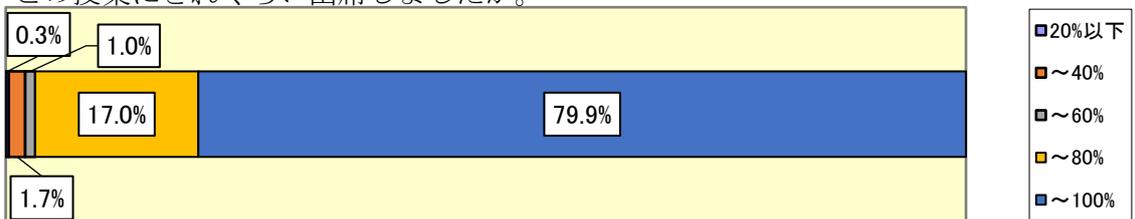


この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。

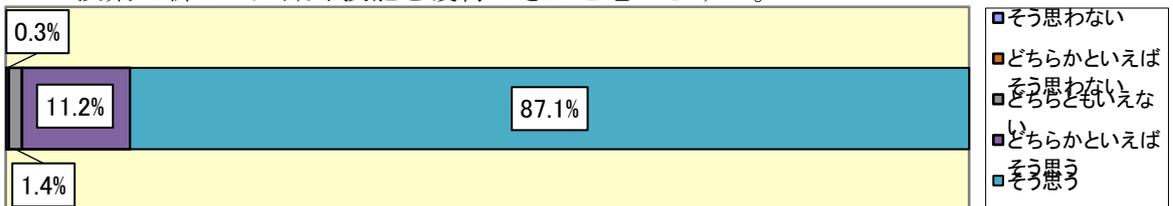


大学院・演習

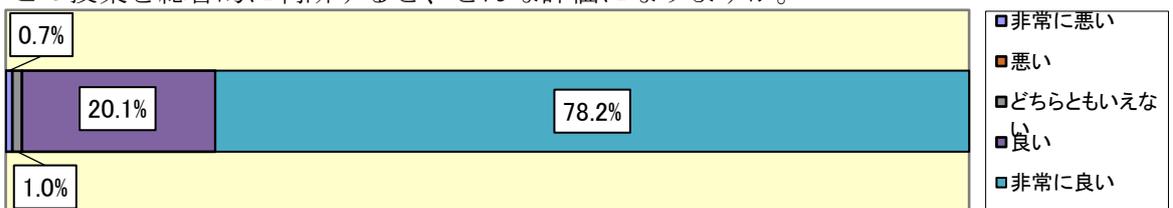
この授業にどれくらい出席しましたか。



この授業で新しい知識や技能を獲得できましたか。

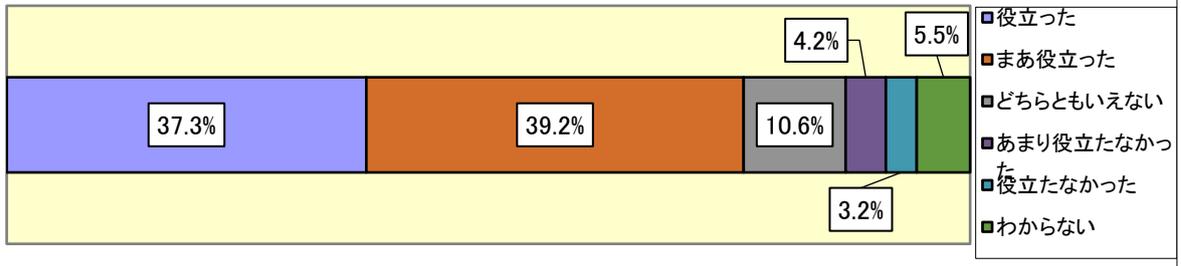


この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。

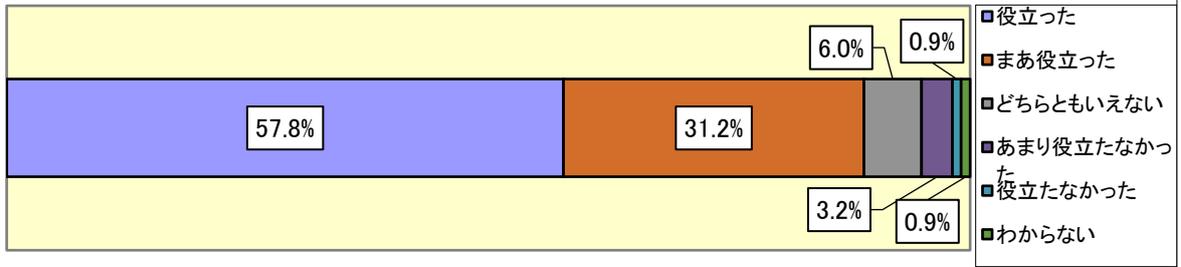


教育環境評価アンケート

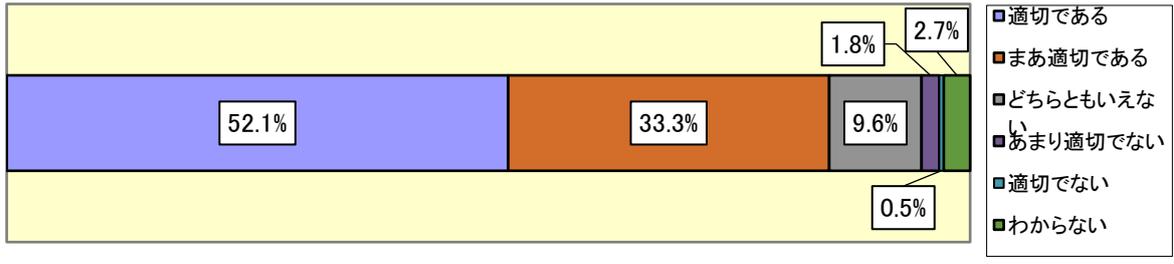
各種ガイダンスやオリエンテーションは履修科目の決定や学生生活に役立ちましたか。



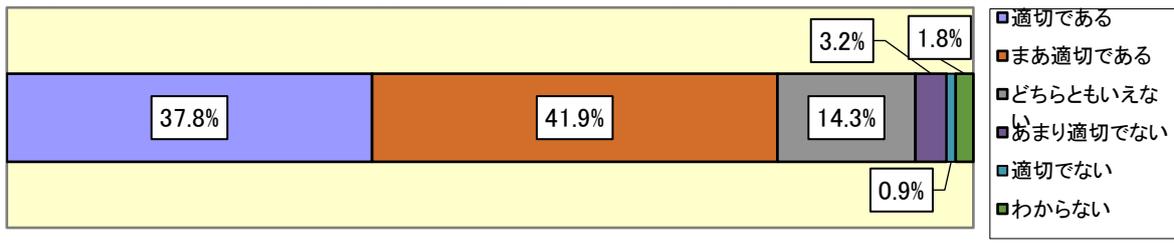
授業科目の履修に当たって『学生便覧』や『講義概要』による情報は役立ちましたか。



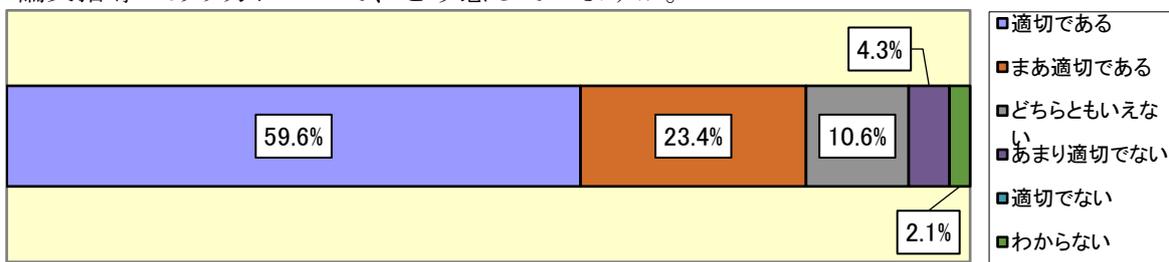
ふだんの学習相談や助言などを含め、教員による履修指導は適切ですか。



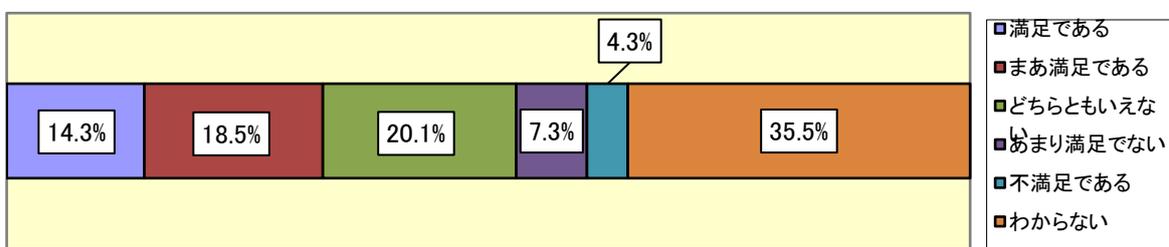
現在のカリキュラム（履修科目の構成）について、どう感じていますか。



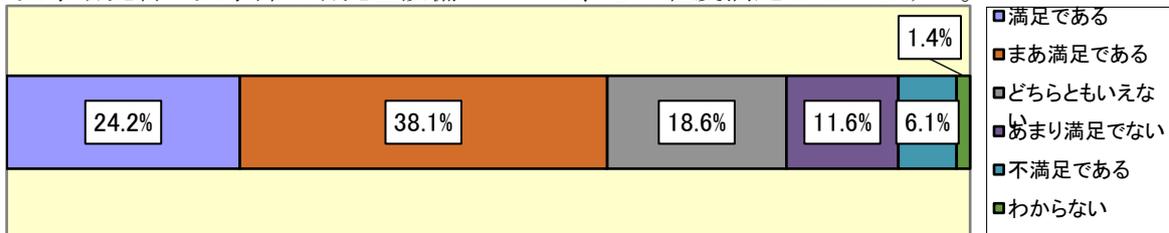
論文指導のあり方について、どう感じていますか。



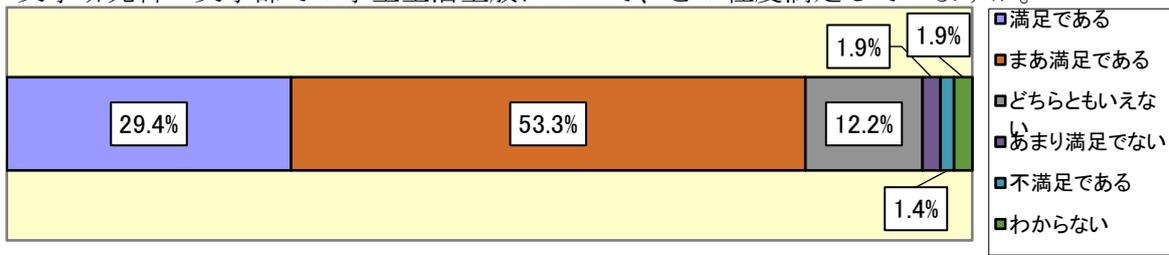
授業以外の講座(就職講座、公務員講座、教員養成講座)等について、どのように感じていますか。



文学研究科・文学部の研究室設備について、どの程度満足していますか。



文学研究科・文学部での学生生活全般について、どの程度満足していますか。



自由記述欄

(44 枚分。アンケート総回答数：218 枚)

◎授業の履修、単位の取得について

- 1) 学務情報システム上で履修単位がどのくらい不足しているかなどを一目で分かるようにしてほしい。(B3) ×2
- 2) 専門外の必修科目が多すぎる。(B3) 他専修の科目と自専修の科目が重なっていて履修できない。(B2)
- 2) 卒論のしめ切りは年内の方がよい。(B4) 卒業論文の書き方のガイダンスを行ってほしい。(B4)
- 3) 就活に関するさらなる情報提供、有名企業だけでなく、地元企業を知る機会があるとよりよい。(B4) キャリア支援の授業があるとよい。(B3)
- 4) 社会人大学院生向けの長期履修への転換手続きを入学後にも認めてほしい。(D2)

◎研究室・研究環境について

- 1) 研究室が狭い。(B3) ×2 研究室が汚い。(B2)
- 2) 教員が少ない。(M1) 教員・学生の質が低い。(M2) 研究費が少ない。(D2)
- 3) 改組後、どうなるかについて、心配しております。(M1)

◎窓口・シラバス・学生便覧について

- 1) ・留学の手続きに関して、事務の方々の手厚い対応に非常に助けられています。(B2)
- 2) 教務係・総務係などの事務窓口、いつもお世話になり、誠にありがとうございます。親切でありがとう。(D3)
- 3) 学生に対する説明が不十分。また、そもそも学生に対する態度が不快でこちらも教務に対して誠実に対応しようと思えない。(B4)
- 4) ときどき事務に関する仕事に慣れない先生(職員)がいて、処理することに時間がかかってしまいました。(M2)
- 5) 最初に対応した職員が他の職員に頼っている。意思疎通ができていない。職員も分かっていないことが多い。学部と全学教育の混同が見られる。(B2)
- 6) 文学部棟のポスターや連絡事項を文法棟にも知らせてほしい。休講情報や学部全体に関わる連絡を学務情報システムや学部メールで連絡してほしい。(B4)

◎教室・設備等について

- 1) エアコン(暖房)の緊急修理を希望。(B2)・(B3)・(B4)・(M1)・(D1)
- 2) 文1講義室のプロジェクターの修理を希望。(B2) ×2
- 3) 教室に時計の設置を希望。(B2)・(B3)
- 4) 机の数・スペースの不足。(M1) ×2・(M2) 過剰(B2) 机が小さく、イスが堅い。(M1)
- 5) トイレの故障が多くて不便。(B2)・(B3)

◎図書館・厚生施設について

1) 生協の閉まる時間が早い。コンビニを入れてほしい。(M2) 生協の商品をふやしてほしい。(D3)

2) ・文系食堂のレジと食器返却口が近い。(B2)